

# Asianalysis XIV(インドネシア・ジャカルタ)に参加して

東京大学大学院理学系研究科 西口知輝

## 1. はじめに

今回の Asianalysis XIV は、インドネシアの首都 Jakarta で開催されました。Jakarta はジャワ島の西部、赤道のわずかに南に位置しており、11 月から 6 月までが雨季、7 月から 10 月が乾季の熱帯性気候です。戦後オランダから独立して以降急速に発展した街であり、現在では人口 1000 万人を超えるメガシティに成長しています。多民族国家ではあるものの、Jakarta ではイスラム教徒が大多数を占めており、他の東南アジア諸国とは異なる文化を形成しています。

## 2. 学会の様子

本学会は Jakarta Convention Center を会場として、2018 年 4 月 5、6 日の二日間にわたって口頭発表とポスター発表が行われました。現地の方による伝統的な舞踊によって開会宣言が行われ、異国の地に來たことを感じさせられました。私は初日の午後、"Single molecule detection of transient formation and dissociation of GPCR-G protein complex"と題する口頭発表をしました。一般には馴染みのないミクロな現象を対象にした研究ですが、数多くの質問をいただくことができ、充実した発表となりました。インドネシア人研究者の発表を聞く機会もございましたが、熱帯林の潤沢な資源を利用した研究に加えて、食品の分析や開発といった、より地域の生活に密着した研究に力を入れている

のが印象的でした。私の研究内容とは大きく異なりましたが、対象が身近であったため、大変興味深く講演を聞かせていただきました。ポスターセッションは十数枚の展示しかなく少し寂しい印象も受けました。しかし、その分それぞれの発表についてゆっくりと議論ができたように思います。

インドネシアでは多くの人がイスラム教徒であるため、女性は常にヒジャブと呼ばれるスカーフをかぶって生活しています。会場でも色とりどりのヒジャブを着て参加されていたので、普段のスーツで統一された学会とは対照的で、なかなか新鮮な光景でした。その自由な雰囲気のおかげで、いつもよりも気軽にディスカッションができたように思います。

Jakarta Convention Center では Lab Indonesia と呼ばれる分析展も同時に開催されていました。ちょうど幕張メッセで毎年秋に開催される分析展 JASIS と同じように、各企業がブースを設けて分析機器の紹介を行っており、遠く離れた地でも同じようなイベントが開催されていることに感銘を受けました。インドネシア国内や近隣のシンガポールからの参加が目立ちましたが、日本からもいくつかの企業が参加しており、うれしく感じました。

## 3. インドネシアの市街観光

少し空いた時間には Jakarta の市街観光にも出かけました。国立博物館には石器時代から近代にかけてのありとあらゆる遺物が展示されています。中でも、熱帯地方らしい風通



写真 1: 現地の方による伝統舞踊



写真 2: 国内の先生方との夕食(著者は右手前)



写真 3: ジャカルタ国立博物館

しのよさそうな木造の建築模型が印象に残りました。現在ではビルが立ち並び、道にはバイクがひしめき合っていることを思うと、**Jakarta** の大変貌を感じます。日本の博物館と比べると小規模なものでしたが、学芸員さんの所蔵物に対する愛着が感じられたのは良い思い出です。

市内を歩けばいたるところにショッピングモールがあり、生活する分には日本よりも便利な一面もあるかもしれません。一方で、市内の移動手段が主にタクシーしかない点では非常に苦労しました。数キロの移動なら日本円にして 500 円もかからないため、**Jakarta** 市民も日常的にタクシーを利用します。そのため道路はタクシーだらけであり、少しの移動でも深刻な渋滞に巻き込まれることを覚悟する必要がありました。地下鉄が建設中でしたが、公共交通機関の重要性をこれほどまでに感じたことは今までにありません。今年の夏にはアジア競技大会が **Jakarta** で行われるようです。これを機に交通事情もある程度改善されることでしょう。

麺や米を中心とするインドネシア料理は、まず味が濃い印象です。しかし、醤油やだしをベースにしているため、日本人にもなじみやすいものでした。一方で、イスラム教の戒律のために肉はあっても鶏肉が中心であり、どの料理もヘルシーな印象です。アルコールを飲む習慣もあまりないようで、まともな金額で手に入るのはビンタンビールの一種類しかありません。その代わり、多彩で魅力的なフルーツジュースを楽しむことができました。特に夏のような蒸し暑さの中で飲む、生絞りのスイカジュースは格別でした。生ものや水は衛生的に問題があるそうですが、体調を崩すこともなく帰国することができたのは幸いです。

#### 4. さいごに

これまでに欧米を中心に学会、留学経験をさせていただく



写真 4: インドネシア風焼うどん

機会がございましたが、東南アジアでの学会参加は初めてであり、文化の違いに驚くことばかりでした。研究面においても、インドネシアでの生活をより良くしようとする勢いがあり、改めて良い刺激を受けたように思います。学会中に会った先生方、インドネシアでお世話になったみなさま、そしてこのような機会を与えてくださった指導教員である小澤岳昌先生に感謝いたします。